

琉球大学学術リポジトリ

冠船芸能で上演された組踊の基礎的研究：
演戯故事と組踊台本との内容比較を中心に

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2018-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 我部, 大和 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/40994

様式第 13 号

琉球大学大学院
人文社会科学部研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 大城 学

副査 赤嶺 守

副査 豊見山和行



学位（博士）論文審査の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、学位論文の審査を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名	我部 大和
人文社会科学部研究科 比較地域文化専攻	主指導教員	大城 学
	副指導教員	赤嶺 守・豊見山和行
成績評価	合格	
論文題目	冠船芸能で上演された組踊の基礎的研究 －演戯故事と組踊台本との内容比較を中心に－	
審査要旨	<p>本論文は、冠船芸能上演の際に冊封使等に供された漢文の「演戯故事」4冊に所収されている組踊11番を仇討物、世話物、恋愛物に分類し、すべての漢文を現代語訳して組踊台本と比較検討している。さらに、史料を検討しながら、近世琉球社会における組踊の脚色を分析・考察している。</p> <p>その結果、「仇討物」「世話物」では儒教倫理観が貫かれていて、琉球が儒教をしっかりと受容していることを明らかにした。また、「恋愛物」は、従来の研究では冊封使を歓待する冠船芸能では、恋愛物の「手水の縁」が上演されることはなかった、と言われてきた。しかし、本論文では「手水の縁」は冠船芸能として上演されており、冊封使にとっては寛容に受け入れられたのではないかと結論付けているなど、独自性が見受けられる。</p> <p>「演戯故事」所収の組踊11番を取りあげた研究は本論文が嚆矢である。組踊や中国演劇に関連する文献史料等を丁寧に読み込み、手堅く検証して論述していることで、本論文は十分な成果をあげており、琉球芸能史研究に新しい研究分野を拓いたとして、本審査委員会では博士の学位を授与せられる資格を備えていると判断した。</p>	

様式第 1 4 号

琉球大学大学院
人文社会科学研究科委員会 殿

博士論文審査委員会

主査 大城 学

副査 赤嶺 守

副査 豊見山和行



最終試験の結果報告書

このたび、博士論文審査委員会として、最終試験を終了しましたので、その結果について、下記の通り報告します。

記

学生番号	学生氏名	我部 大和
人文社会科学研究科 比較地域文化専攻	主指導教員	大城 学
	副指導教員	赤嶺 守・豊見山和行
成績評価	合格	
審査要旨	<p>副査・豊見山和行の総括のもとで、申請のあった博士論文の内容とそれに関連する授業科目について口頭による最終試験を行った。本論文題目は「冠船芸能で上演された組踊の基礎的研究－演戯故事と組踊台本との内容比較を中心に－」である。</p> <p>以下の3点を軸に試験を行った。</p> <p>まず、口頭試問での関連質問を行い、本論文が学位の水準に達していることを確認した。次に、本論文に関連する基礎的な専門知識や自らの論文の研究上の位置づけを問い、研究上の貢献があったことを確認した。そして、本論文で取りあげた研究分野に関する授業科目「琉球文学芸能特論」「琉球文学芸能演習」「琉球近世史学特論」「琉球近世史学演習」「琉球中国関係史特論」「琉球中国関係史演習」「比較地域文化総合演習」「比較地域文化特別研究」などの視点から、学位に相応しい研究能力とその学識を有していることを確認した。</p> <p>以上の点から、本審査委員会は、本論文に加え、その分野における学位の水準に達していると認め、最終試験に合格と判断した。</p>	